

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 28 日

事業所名 はぐはぐ子ども村西都 保護者等数(児童数) 21 回収数 15 割合 71 %

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無記入		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15						保護者の評価からも、スペースは確保されている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12		1	2			集団療育をベースとし、個別対応としては療法士と協力しながら専門性を高め継続していきたい。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		7	1		構造化に加え、児童一人一人に合わせた環境設定をしている。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1		1			写真や、文字、前もって予告する等して個々に合わせた計画で行っている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	3		3			発達状況に合わせて職員全員で共通理解を持ち対応している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	8			年に2回、全事業所や地域の方に声を掛け交流の場を設けている。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2			5		契約時に説明しているがより一層分かりやすく伝えていきたい。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	1	1			メールやお迎え時に口頭などで子どもの様子を伝えている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1	1			保護者の気持ちに寄り添いながら助言をしたり支援を心掛ける。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	3	8			父母の会は開催してないが、母子通園やイベント時に保護者同士の連携が取りやすい環境を作っていきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4		5		定期的にケース会議等をし、学校や家や施設での様子は違うことから連携の体制を必要とする。	保護者の対応には療育士とも連携を取り保護者の意見に傾けて迅速に対応に努める。保護者の要望があれば担当者会議を開いて対応する。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	3		2			事業所からの発信が少ないと感じているので改善していきたい。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3		2			毎月の「お便り」にて活動や、日々の活動等発信しているが、業務に関する自己評価の結果は入れてないので改善していきたい。
14 個人情報に十分注意しているか	13	1		1			今後とも細心の注意を払って取り扱う。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2	1	5			保護者に対しての周知には説明の不足を感じているので改善していきたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		2			各月地震・洪水・火事を想定して行っている。また「お便り」にて避難訓練の様子も発信していく。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	3				毎日楽しみにしています。気持ちの不安定な時もあるが送迎時に気持ちを切替えている。楽しく参加している。	また来たいと思える気持ちを大事にしていくことを心掛ける。
	18 事業所の支援に満足しているか	9	6					計画に沿って常に支援の方法を検討・見直しをしていく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。